

東京 2020 大会 都市ボランティア

台場地域住民でオリンピックを盛り上げよう！



By courtesy of GLA



By courtesy of GLA

東京 2020 大会の都市ボランティアは、国内外の多くの選手・観客と明るく楽しい雰囲気の中で直接ふれ合い、開催都市・東京の顔として活動します。港区は、地域の皆様に希望される方を都市ボランティアとして東京都へ推薦しますので、申込用紙に必要事項を記入いただき、ぜひご参加ください！

【都市ボランティアならではの魅力】

- ① 国内外からの多くの選手や観客と直接ふれ合えます！
- ② 東京や自分たちのまちの魅力を世界へ発信できます！
- ③ 活動日はオリ・パラ通じ5日間（1日あたり5時間）から可能です！
- ④ ご家族・友人などグループで応募・活動できます！

募集の概要

応募に当たって	2020年4月現在で18歳以上など（詳細は次ページ参照）
応募単位	個人又は4人までのグループ
主な活動内容	・トライアスロンなどが実施されるお台場海浜公園周辺において、観光・交通案内や観客の案内を行います。

活動エリア

活動エリアは、②台場エリアの中でも、お台場となります。



- ①武蔵野エリア ②台場エリア ③湾岸エリア
④都市部エリア ⑤代々木エリア ⑥羽田空港

お問合せ先 港区企画経営部オリンピック・パラリンピック推進担当

電話 3578-2111（内線 2092、2087、2568）

1 募集内容

(1) 募集人数：150人

(2) 応募に当たっての条件

都市ボランティアの募集要項の要件（①2020年4月に18歳以上、②日本国籍又は在留資格あり、③日本語による会話ができる方）を満たす方で、以下に条件に合致する方
ア 港区内に在住、在勤、在学していること。

イ 次のいずれかの知識やスキル、経験を持っていること。

(ア) 東京の観光、交通案内等に関する知識やスキル・経験

(イ) 防災・防犯・救命救急等に関する知識

(ウ) 英語やその他言語及び手話等のスキル

ウ e-learning による研修が受講可能な環境を有していること。

(3) 待遇：公募の都市ボランティアと同じです。（ユニフォーム、保険加入、交通費支給等）

(4) 研修：集合研修に加え、e-learning による研修が実施される予定です。

2 応募方法

(1) 提出書類：①【区市町村推薦用】応募様式（個人＋グループ）

※個人のほか、1グループ4名までの申し込みが可能です。

②確認書兼同意書

(2) 提出先：①推薦申込様式：必要事項を入力し、以下の宛先にメールにて提出してください。

kikaku@city.minato.tokyo.jp

②確認書兼同意書：必要事項を記載し、以下の宛先に郵送してください。

〒108-8511 港区芝公園1丁目5番25号 企画経営部オリ・パラ推進担当

3 提出期限 平成30年12月19日（水）必着

■都市ボランティアへの応募・参加に当たっての留意事項

都市ボランティアへ応募し、また、面談や研修、活動に参加する際は、都市ボランティア募集要項記載の内容のほか、次の事項に留意していただく必要がありますので、御了承の上お申込みください。

- 1 応募時点で未成年の方は、親権者又は未成年後見人の同意を得た上で応募してください。
- 2 暴力団員その他これらに準ずる者は、応募・参加することができません。
- 3 個人情報、都の定める個人情報保護方針に従って取り扱うことについて同意していただきます。
- 4 応募フォームや応募用紙に不正確な記載等があった場合、応募を無効とする場合があります。
- 5 面談や研修、活動に参加する際、次の行為を行った場合は、登録を取り消すことがあります。
 - (1)法令に違反し、又は公序良俗に反する行為
 - (2)犯罪行為又は犯罪行為を助長し若しくは関連する行為、又はそのおそれのある行為
 - (3)不適切と判断される性的、暴力的、差別的言動、その他観客やボランティア等に精神的又は身体的苦痛を与える行為
 - (4)東京2020大会の円滑な運営に支障を及ぼす行為又は観客等に対する迷惑行為と判断される行為
- 6 面談や研修、活動中の様子を撮影し、画像や映像をウェブサイトやテレビ、資料、プレスリリース等で使用させていただく場合があります。
また、面談時に顔写真の撮影を行います。
- 7 応募や参加を辞退される場合は、速やかに連絡してください。
- 8 今後、活動への参加等に当たり、別途都の定める必要な事項について、御了承いただくようお願いする場合があります。

*個人情報保護方針は以下 URL からご確認ください。

<http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp/jp/agreement>

都市ボランティアの活動内容と魅力について（よくある質問と回答）

Q1 そもそも都市ボランティアとは何ですか？

A1 過去のオリンピック・パラリンピックでは、会場内で大会運営を支える様々な活動を行う「大会ボランティア」と街なかや会場周辺で観客の案内等を行う「都市ボランティア」が大会を支えてきました。都市ボランティアは、開催都市の顔として大会を印象付け、大会を支える重要な役割を担います。

Q2 都市ボランティアの具体的な活動内容は何ですか？

A2 主に次の3種類の活動内容があり、応募時にご希望を伺います。

- ① 空港、主要駅、観光地における観客等への観光・交通案内
- ② 会場最寄駅から会場までの道のり（ラストマイル）における観客の案内や盛り上げ（ロンドン大会では、大会ボランティアがこの役割を担当しており、大会運営の一部を担うものです。）
- ③ 都が街なかに設置し、パブリックビューイングや競技体験を行うライブサイトにおける観客の案内や運営サポート

Q3 活動日数はどのくらいですか？仕事をしながら参加可能ですか？

A3 活動日数はオリ・パラ両大会を通じ5日から、1日の活動は休憩時間を含め5時間となっています。必ずしも連続した日程である必要はなく、活動可能な日程を選んで活動いただきます。そのため、お仕事をしながらでも、例えば、土日や夏季休暇を活用して参加することができます。

Q4 大会まで2年近くあり、転勤や家庭の事情で確実に参加できるか分かりません。

A4 お仕事やご家庭の事情でやむを得ず都市ボランティアへの参加が難しくなった場合は、事務局までご一報いただければそれで結構です。まずは、都市ボランティアに気軽にエントリーしてみる気持ちで積極的にご応募ください。

Q5 区市町村推薦の対象になるメリットは何ですか？

A5 区市町村から推薦された場合、基本的にそのまま都市ボランティアとして参加・活動していただくこととなります。（ご本人のご意向を伺うための面談や都市ボランティアとして必要な知識を身につけるための研修は受講していただきます。）

また、地元競技会場やライブサイトがある場合は、基本的にその会場周辺で、同じ区市町村推薦の方々と一緒にまとまって活動し、地域の魅力を発信することができます。地元会場がない場合も、近隣エリアの会場等で同じ区市町村推薦の方々と一緒にまとまって活動し、地域の魅力を発信することができます。

Q6 観客と外国語で話すのに不安がありますが、参加できますか？

A6 応募要件として、外国語スキルは必須のものとはしていません。外国人観客に対しては、外国語のできる同僚と連携する、観客案内用に現場へ配布する多言語のガイドやマップを使う、翻訳アプリ等のツールを使うなどによりご案内していただくことを想定しています。
また、基本的に基礎的な英会話ができれば多くのケースで対応できます。大会まで1年半以上ありますので、今からでも基礎的な英会話を身に付けていただければ、大会本番で必ず役に立ちますので、ぜひご検討ください。

Q7 猛暑の中の活動で熱中症にならないか心配です。

A7 屋外で活動することの多い都市ボランティアの方々が安全に、安心して活動していただけるようにするため、活動時間の半分程度の時間は日陰や冷房のある休憩所などで十分に休憩していただく予定です。

また、帽子を提供し、頭部が日光に直接当たるのを避けるとともに、飲料水を提供し、こまめに水分補給していただけるようにします。

さらに、都の負担でボランティア活動向けの保険に加入いただきますので、万が一の場合も、保険料で必要な治療を受けていただきます。

Q8 一人で参加するのが不安です。家族や仲間と参加できますか？

A8 都市ボランティアには、4人までのグループで参加・活動することができます。ご家族、ご友人、地域や職場の仲間などグループの組み合わせは自由です。活動当日にグループの誰かが欠けた場合も、残りのメンバーでまとまって活動できます。なお、4人を超えるグループについては、複数のグループに分かれて応募してください。

Q9 食事や交通費など、提供されるものはありますか？

A9 ユニフォーム一式、交通費相当として1日1,000円、飲食、ボランティア活動向けの保険をご提供します。ユニフォーム一式の内容は、現在検討中ですが、帽子、シャツ（着替えあり）、パンツ、スニーカー、ジャケット等を想定しています。

また、子育て世代向けに、場所によって託児サービスが利用できるよう検討していきます。

Q10 面談や研修はいつ行われ、どのくらいの時間・回数になりますか？

A10 面談・説明会は、2019年2月から5月にかけて都内会場で一回、2～3時間程度を予定しています。

研修は基本的に3種類があり、共通研修は2019年10月から2020年2月にかけて、毎週5日程度開催するなかから、ご都合の良い日程を選んで参加いただきます。集合研修は1回（3～4時間程度）、この他、e-learningも受講していただきます。

役割別研修は、2020年4月以降、ご都合の良い日程を選んで参加いただき、集合研修1回（3～4時間程度）、この他、e-learningも検討しています。

配置場所別研修は、2020年4月以降ご連絡します。